

公表事業所における自己評価結果

事業所名	Yくまーず未来 春日井ぶち	公表日2026年 9月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容や利用者数に合わせてグループ分けや部屋分けをして工夫をしています。
	2利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容や利用者数に合わせてより多くの人員を配置できるよう配慮しています。
	3生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	手洗い場がもう少し低く幅広いものだと子どもが使いやすいかと思われます。
	4生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃や消毒を行い清潔な環境に心がけています。活動内容や利用者数に合わせて机やイスの配置を工夫しています。
	5必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	○	状況に応じてパーティションで仕切りをつくり個別に近い環境をつくったり、別室へ移動するなどの工夫をしています。
業務改善	6業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝と帰りのミーティングで、利用者と保護者等の意向やその日あったことについての情報共有と、問題点等の対策や改善方法について話し合い、検討をしています。
	7保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	8職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	9第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	現状は第三者による外部評価は行われていません。必要に応じ実施を検討したいと思っています。
	10職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修は実施されています。
適切な支援の	11適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員全員で話し合い作成しています。
	12個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用に際しての見学、体験時に保護者面談を行いニーズを把握したり行動観察を記録し、児童発達支援計画書を作成しています。また計画内容については全職員間で話し合い決定しています。
	13児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画内容を職員間で共有し、計画に沿った支援を心がけています。
	15こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察や、外部にて実施された発達検査の結果等にて発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	16児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに即した支援内容を設定しています。
	17活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当は決まっているが、随時全職員で相談したり、協力し合いながら行っています。

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事を取り入れたり、活動の課題内容を少しずつ発展させていくことで楽しみながら発達を促すようなプログラムを組んでいます。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団活動と個別レッスンを組み合わせて一人ひとりの発達に応じ個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援に取り入れています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		行っています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者が出席しております。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ関係機関と支援内容について情報共有しております。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者等からの要望に応じて対応させていただいております。園のお迎え時に担任よりその日の出来事などを情報共有しています。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			小学校等より情報共有を求められたことはありません。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		相談支援員と個々のケースについての情報共有を行っています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		実績はありません。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎の際にお子さまの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムの実施はありますが、要望に応じて面談を行っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいております。また不明な点には随時職員が説明を行っております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時、定期的なモニタリング時に確認する時間をしっかりと設けております。	

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時、定期的なモニタリング時に丁寧に説明をし、保護者様から同意をいただいております。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的なモニタリング時に相談の時間を設けております。また送迎時や必要に応じて時間をとって話す機会を設けています。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいたい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は実施しましたが、今後もご要望に応じて開催を検討します。親子遠足、Yくまフェスティバルなど他事業所と合同で開催することにより、保護者同士、きょうだいたい同士が交流する場を提供しております。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の申し入れがあった場合、電話やLINE、面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めております。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回ぶち通信を発信し、行事予定をお伝えしております。必要に応じてLINEやHUGを利用して連絡事項等の情報を発信しております。
42	個人情報情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。また使用する書類についても必要以上に目に触れないよう扱っております。
43	障害のあるこどもや保護者との悪意の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ことばと共に見て分かりやすい絵カードを使用するなど伝達方法を工夫したり、伝わる方法をお子さまや保護者様に合わせるようにしております。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	○		会場を地域の企業に提供していただきお祭りを開催しております。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者様への周知、職員の訓練が十分でないところがありますので改善していきたいと考えております。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練が十分でないところがありますので、改善していきたいと考えております。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様にご記入された健康状況票により把握しております。また必要に応じて聞き取りを行っております。
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがあるものについては、おやつや活動の材料に取り入れられないようにしております。
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全に配慮した支援を心がけております。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画はHUGにて公開しておりますが、取組み内容の周知は不十分と想われます。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの内容を職員ミーティングで共有し、再発防止のための対策を話し合っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を実施し、適切な対応を心がけております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様にしっかりと説明し理解をいただいております。

保護者への説明等

非常時等の対応